

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
榛沢小	上回った	下回った	上回った	上回った	上回った	上回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
榛沢小	5-A	6-B	7-C	5-B	5-B	6-B
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
榛沢小		3	0		2	2
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4 榛沢小 埼玉県	小5 榛沢小 埼玉県	小6 榛沢小 埼玉県		
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	100	90.6	96.1	88.5	80.0
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	81.3	78.6	69.3	77.0	80.0
	・自分からはつきり挨拶をすることができます	100	81.5	88.5	82.0	95.0
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	81.3	77.8	76.9	80.7	65.0
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	87.5	85.5	88.4	86.9	90.0
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	75.1	54.2	61.5	49.2	65.0
学習等への関心	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	62.6	52.8	53.8	54.1	70.0
	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	93.8	75.6	80.8	76.0	70.0
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	31.3	36.6	34.6	36.3	40.0
授業について	・地域の歴史や自然に関心をもっている	75.1	73.5	76.9	70.5	85.0
	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	87.6	78.6	84.6	74.1	80.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	100	75.9	92.3	79.8	80.0
	・国語や算数の授業で、週1~2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	31.3	45.1	38.5	48.9	52.5
その他	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	25.1	21.6	34.6	24.5	20.0
	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	93.8	94.2	92.3	94.8	95.0
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	87.5	85.3	96.1	90.0	90.0
	・学級での生活は楽しい	93.8	94.4	96.1	92.8	95.0
						92.3

【質問紙分析】

- ・「自分からはっきり挨拶をすることができている」「相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる」との項目は県平均を上回り、全校でのあいさつ指導等の成果が見られた。
- ・「勉強するときは、最初に計画を立ててから始める」の項目は県平均を上回り、「家庭学習のすすめ」や「けテぶれ学習」により、学習の計画を立て取り組む姿勢が育ってきている。
- ・「授業で学んだことを生活に生かせると感じた」の項目は県平均を下回った一方で、「もっと学びたいと思った」との項目は県平均を上回っており、学習意欲は高いが、学習した内容と実生活との結び付けが弱いことが考えられる。今後は、授業での課題設定や教材に生活や社会との関連を意識的に取り入れ、学びの意味や活用場面を実感できるよう工夫していく必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・本時の学習の目標を明確にした授業実践を行った。
- ・児童自身が学習計画を立て振り返る「けテぶれ学習」を導入することで、自主的・計画的に学ぶ姿勢を育成した。

【国語】

- ・説明文の授業では授業構成を統一し、目的や要点を捉える読みの力を身に付けさせた。
- ・語彙の定着を図るために、「意味調べ」を行った。

【算数】

- ・ICTを活用し、個々の習熟度に応じた練習問題に取り組ませた。
- ・自力解決やノート記述の時間を十分に確保し、考え方を可視化しながら理解を深める授業を行った。

一人一人をより伸ばすための取組

・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善と学級経営の充実

授業では、課題を自ら見いだし、情報を整理・活用する活動や対話の時間を設け、思考力・判断力・表現力の育成を図る。振り返りを通じて学びの意義を実感させるとともに、学級活動を通して互いの意見を尊重し合える雰囲気づくりに努め、安心して学べる学級づくりを推進する。

・ICTの活用と個別最適な学びの充実

習熟度や学習内容に応じたデジタル教材や学習アプリを活用し、ICTを個別最適な学びや協働的な学びの場面で効果的に取り入れる。児童が自ら課題に応じた手段を選び取り、学習を深める姿勢を育む。

・指導と評価の一体化による自己調整学習の促進

学習のねらいを明確にし、児童が目標を設定して学習に取り組めるようにする。振り返りやフィードバックを通じて、児童自らが学びを見つめ直し、次の学習に生かせるようにする。また、学力向上PJやGKTの活用により、基礎・基本の定着を図りながら、個別の課題に応じた指導を継続的に行う。